

# 都市再生整備計画(第6回変更)

うしつちく  
宇出津地区

いしかわ のとちよう  
石川県 能登町

平成27年1月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	石川県	市町村名	のちよう 能登町	地区名	うしつ 宇出津地区	面積	35 ha				
計画期間	平成	22 年度	～	平成	26 年度	交付期間	平成	22 年度	～	平成	26 年度

### 目標

- 祭りのメッカ・奥能登のにぎわい中心地としての宇出津地区の復興
- 目標1. 町民の交流の場としてのにぎわい拠点づくり
- 目標2. にぎわい拠点と商店街の回遊性の向上
- 目標3. 祭りのメッカ・舞台としての魅力向上による来街者の増大

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

##### 【宇出津地区の現況】

- 宇出津地区は、1616年に前田家による埋め立て整備によって生まれて以来、約400年近くにわたって、奥能登の海運・陸運の中心地であった。
- 奥能登の「都」として、商業、行政、医療等、周辺町村の生活の中心として機能してきたが、モータリゼーションの進行によってその地理的優位性を奪われ、現在は、過疎化(旧能登町人口S35年19,348人→H21年10,425人→H37年約6,000人(推定)、と高齢化(旧能登町S40年8.4%→宇出津地区H21年34.0%)が進んでいる。(平成17年3月に旧能登町は、旧内浦町・旧柳田村と合併し、能登町(のちよう)となった。)
- 近隣市町村への大型店進出等の影響により、中心市街地(中心商店街)としての地区の求心性が低下しつつある。(地元商店街購買率(全商品)H6年76.7%→H21年55.2%)
- 宇出津地区は、春夏秋冬を通じて祭りが行われ、祭りの舞台としての側面を有しており、特に夏の「あばれ祭り」は、その勇壮さと迫力で能登の奇祭として多くの来街者を惹きつけているとともに、地域コミュニティの維持に大きな役割を果たしている。
- 祭りによるにぎわいづくりの精神は、現在にも受け継がれており、春夏秋冬の伝統的な祭りのほか、歩行者天国や寒ブリ祭りなど新たなイベントや催しが行われている。
- 旧能登町の観光入り込み客数は、H12年407,596人/年であったが、H20年には328,634人/年となっており、減少傾向にある。
- 交通面では、平成17年3月末にのと鉄道の穴水以北が廃線となり、地区の広域交流の要であった宇出津駅の交通結節機能が失われた。鉄道に代わる観光や通勤・通学に利用される交通結節点機能の維持が望まれる。
- 能登町まちづくり計画(新町建設計画H16.8)において、宇出津地区を「医療・広域商業拠点」に位置づけられている。

##### 【まちづくりの経緯】

- 中心商店街を中心に街路事業(県事業)をきっかけとして、地元住民および能登町の各種団体代表者からなる「能登街なか再生まちづくり協議会」が発足した。(H10年10月発足)
- 中心商店街では、沿道の街並みづくりを目指した「まちづくり協定書」が平成11年に締結された。これにより、中心商店街の街並み形成が図られつつあるとともに、「まんなか市」(毎月開催)のほか、歩行者天国(お齋市)や寒ブリ祭り、灯りのイベントなど、商店街の活性化をめざした取組みが精力的に行われている。
- 宇出津地区は、中心市街地活性化法に基づいて策定された中心市街地活性化基本計画の区域に含まれているが、その策定にあたっては、地域住民からなる策定委員会を設立し、議論および合意形成が図られた。
- 第1期まちづくり交付金事業は、宇出津地区の今後のあり方について地元住民との意見交換会を開催し、まちづくりにかかる意見の集約を図り、地元住民および能登町各種団体代表者からなる推進委員会を設けて、合意形成が図りながら進められた。これにより、住民や商業者によるにぎわいづくり活動が活発化しており、地元住民主体の新たなイベントなどが開催されている。
- のと鉄道廃止後、地元住民が参加するワークショップを開催して意見集約を図り、平成20年に宇出津駅跡地利用計画を策定した。廃止駅跡地を活用したにぎわい拠点づくりが求められている。

#### 課題

- 深刻化する過疎化と少子高齢化、近隣市町村への大型店進出等によって、中心市街地の人口が減少するとともに、中心市街地の求心力が低下し、賑わいが喪失つつあることが課題である。
- 宇出津地区のアイデンティティである春夏秋冬にわたる祭りの担い手である若者が減少しつつあるとともに、観光入り込み客数が減少しつつあることが課題である。
- 平成17年3月にのと鉄道が廃止されて宇出津駅がなくなり、宇出津地区にあった奥能登の交通結節機能が失われることが課題である。
- 地区の玄関口である旧宇出津駅から中心市街地への安全な歩行者幹線軸を有していないことが課題である。
- 密集する市街地にはオープンスペースが少なく、中心市街地としての集客拠点となるとともに、災害時の避難場所となる空間の確保が課題である。

#### 将来ビジョン(中長期)

- 能登都市計画マスタープランでは、宇出津地区を市街地ゾーンと位置づけ、生活環境の改善と都市的魅力の向上に努め、住宅機能、商業機能を兼ね備えた地域の中心部としての整備を促進することとしている。
- 中心市街地活性化基本計画(H12.3)では、まちづくりの基本理念を奥能登の中心地としての「都心(みやこころ)」を呼び覚ますこととし、地区の中心性、継続性、多様性、発信性、回遊性を高め、創出することとしている。
- 能登町まちづくり計画(新町建設計画)(H16.8)において、宇出津地区を「医療・広域商業拠点」に位置づけられている。
- 能登町第一次総合計画(H18.9策定)において、宇出津地区は医療の核、にぎわいある魅力的な商業機能、水産物の流通拠点としての機能充実を図る地区として位置付けられている。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
住民・商店街等の自主イベント開催回数	回/年	宇出津地区内における住民や商店街等による自主的なイベントの年間開催数	交流の場としての地区の魅力が向上し、交流拠点としての役割が高まった否かを表す指標として採用	18	平成21年度	23	平成26年度
地区内ポイントにおける歩行者交通量	人/10hrs	宇出津地区内の特定箇所における歩行者断面交通量(10hrs)	歩行者の回遊性の向上によるにぎわいあるまちづくりが達成された効果指標として採用	766	平成21年	800	平成26年度
祭りの観光入り込み客数	人/年	あばれ祭りにおける観光入り込み客数	祭りのメッカ・舞台としての魅力向上による来街者の増大を表す指標として採用(日常時の入り込みも最終的な祭り時の入り込み増大につなげることをめざす)	45,000	平成21年	55,000	平成26年度

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1. 町民の交流の場としてのにぎわい拠点づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇出津駅前跡地を、中心市街地の集客拠点とするため、多角的な利用が可能な広場として整備する。</li> <li>・宇出津駅前跡地において、広域的な交通拠点としての機能充実を図る。</li> <li>・商店街のメインストリートを拡幅整備し、あわせて沿道商店街のリニューアルを図り、中心地にふさわしい街並みの形成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路・地方道新設(交通広場)(基幹事業)</li> <li>・地域生活基盤施設・広場(基幹事業)</li> <li>・高次都市施設・地域交流センター(会議室)(基幹事業)</li> <li>・地域生活基盤施設・緑地(基幹事業)</li> <li>・地域生活基盤施設・地域防災施設(基幹事業)</li> <li>・街なか再生・目抜き通り整備事業(関連事業・県)</li> <li>・防災備蓄倉庫(関連事業)</li> </ul>
<p>整備方針2. にぎわい拠点と商店街の回遊性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなにぎわい集客拠点(宇出津駅前跡地)と中心市街地商店街を結ぶ回遊路を整備する。</li> <li>・宇出津駅前跡地を起点として街なかへの回遊を促進する「歩いて楽しい空間形成」を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路・地方道新設(基幹事業)</li> <li>・道路・高質舗装(基幹事業)</li> <li>・道路・消雪施設(基幹事業)</li> <li>・道路・改築(基幹事業)</li> <li>・街路灯設置事業(提案事業)</li> </ul>
<p>整備方針3. 祭りのメッカ・舞台としての魅力向上による来街者の増大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・祭りの案内等を行う情報拠点を整備する。(日時・イベント時)</li> <li>・街なかでまつりを感じさせる情報板を整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高次都市施設・観光交流センターおよび付随する駐車場(基幹事業)</li> <li>・地域生活基盤施設・情報板(基幹事業)</li> <li>・観光交流センター展示工事(提案事業)</li> </ul>
<p>その他</p> <p>○施設の維持管理における住民参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当地区では、メインストリートとなる新町通り商店街において、沿道商店主から出資を募って「まちづくり基金」を設立し、歩道の除雪や清掃、街路灯の維持管理などを行う取組みを始めることとなっている。「まちづくり基金」は、街なか再生目抜き通り整備事業(県事業)の事業区間に含まれる商店街商店主全員によって出資され、事業によって整備された道路施設の清掃・維持管理に伴う費用を賄うこととなっている。「まちづくり基金」は、沿道商店主代表者から成る「能都新町通り彌栄(いやさか)会」(平成15年3月20日発足)によって運用される。</li> </ul> <p>○交付期間中の計画の管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交付期間中において、各種の事業を円滑に進めるため、整備内容の住民参加による検討を進めるほか、毎年事業成果について評価や事業の進め方の改善等を行うため、宇出津地区まちづくり交付金事業推進委員会を継続運営する。宇出津地区まちづくり交付金事業推進委員会は、都市再生整備計画の策定に関わったメンバーのうち、当該地区に含まれる町会代表者及び宇出津地区各種団体代表者によって構成される。</li> </ul>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,500	交付限度額	600	国費率	0.4
---------	-------	-------	-----	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
基幹事業														
道路	地方道新設	南北道路・東西道路	能登町	直	L=227m,W=12m	H23	H24	H23	H24	69	69	69	69	
道路	地方道新設	交通広場	能登町	直	A=1,872㎡	H24	H24	H24	H24	164	164	164	164	
道路	地方道新設・高質舗装	宇出津9号	能登町	直	L=120m,W=6m	H22	H23	H22	H23	17	17	17	17	
道路	高質舗装	宇出津13号	能登町	直	L=68m,W=14m	H25	H26	H25	H26	31	31	31	31	
道路	消雪装置	宇出津62号	能登町	直	L=220m	H22	H23	H22	H23	35	35	35	35	
道路	改築	1級宇出津1号線	能登町	直	L=25m	H26	H26	H26	H26	10	10	10	10	
公園														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設	広場	宇出津駅跡地イベント広場	能登町	直	A=5,354㎡	H24	H25	H24	H25	73	73	73	73	
	緑地	宇出津駅跡地緑地	能登町	直	A=902㎡	H25	H25	H25	H25	13	13	13	13	
	情報板	宇出津駅跡地観光情報拠点ほか4箇所	能登町	直	N=5基	H26	H26	H26	H26	10	10	10	10	
高質空間形成施設														
高次都市施設	観光交流センター	宇出津駅跡地観光情報拠点	能登町	直	A=300㎡	H22	H24	H22	H24	520	520	520	520	
	地域交流センター	住民交流施設(会議室、多目的ホール)	能登町	直	A=1,050㎡	H24	H24	H24	H24	325	325	325	325	
既存建造物活用事業														
都市再生交通拠点整備事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
人によさしいまちづくり事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										1,267	1,267	1,267	0	1,267
提案事業														
事業活用調査	事業推進計画策定事業	—	能登町	直	—	H22	H26	H22	H26	1	1	1	1	
	事業効果分析調査	—	能登町	直	—	H22	H26	H22	H26	2	2	2	2	
	事後評価業務	—	能登町	直	—	H26	H26	H26	H26	2	2	2	2	
地域創造支援事業	図書館整備事業	宇出津駅跡地図書館	能登町	直	A=500㎡	H24	H24	H24	H24	204	204	204	204	
	街路灯設置事業	(主)宇出津町野線歩道	能登町	直	L=180m	H26	H26	H26	H26	4	4	4	4	
	観光交流センター展示工事	宇出津駅跡地観光情報拠点	能登町	直	A=200㎡	H25	H25	H25	H25	20	20	20	20	
合計										233	233	233	0	233
													合計(A+B)	1,500



# 宇出津地区(石川県能登町) 整備方針概要図

目標	祭りのメッカ・奥能登のにぎわい中心地としての宇出津地区の復興 目標1. 町民の交流の場としてのにぎわい拠点づくり 目標2. にぎわい拠点と商店街の回遊性の向上 目標3. 祭りのメッカ・舞台としての魅力向上による来街者の増大	代表的な指標	住民・商店街等の自主イベント開催回数 ( % )	18 (H21年度)	→	23 (H26年度)
			地区内ポイントにおける歩行者交通量 (人/10hrs)	766 (H21年度)	→	800 (H26年度)
			祭りの観光入り込み客数 (人/年)	45,000 (H21年度)	→	55,000 (H26年度)

